

# LM・グローバル・プラス (毎月分配型)

追加型投信／海外／資産複合

## 交付運用報告書

第179期(決算日2018年11月8日) 第180期(決算日2018年12月10日) 第181期(決算日2019年1月8日)  
第182期(決算日2019年2月8日) 第183期(決算日2019年3月8日) 第184期(決算日2019年4月8日)

作成対象期間(2018年10月10日～2019年4月8日)

第184期末(2019年4月8日)	
基準価額	9,005円
純資産総額	31,887百万円
第179期～第184期	
騰落率	0.2%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・グローバル・プラス(毎月分配型)」は、2019年4月8日に第184期の決算を行いました。

当ファンドは、毎月の分配と中長期的な信託財産の安定成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

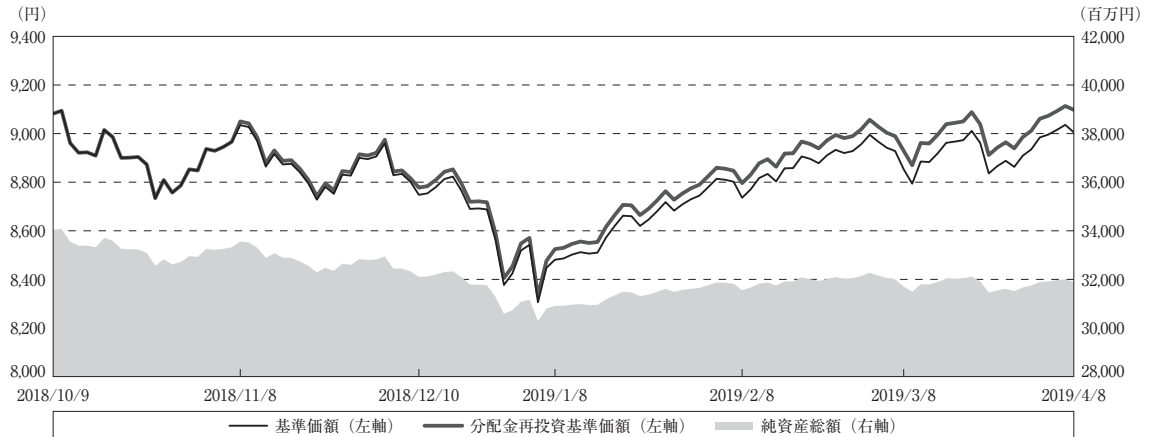
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2018年10月10日～2019年4月8日）



第179期首：9,082円

第184期末：9,005円（既払分配金(税込み):90円）

騰落率：0.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年10月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期のパフォーマンス（騰落率）は若干のプラス（分配金再投資ベース）となりました。

株式損益については小幅マイナスとなりましたが、公社債損益については、欧米債券利回りの低下（価格は上昇）を受けてプラスとなりました。為替損益については、為替市場で米ドルやユーロが円に対して下落したことから、マイナスとなりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2018年10月10日～2019年4月8日）

項 目	第179期～第184期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	57 (27) (26) ( 3 )	0.643 (0.305) (0.300) (0.037)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 ) ( 投資証券 ) ( 先物・オプション )	2 ( 1 ) ( 0 ) ( 0 )	0.021 (0.017) (0.000) (0.004)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 ) ( 投資証券 )	0 ( 0 ) ( 0 )	0.001 (0.001) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( 印刷等費用 )	1 ( 1 ) ( 0 ) ( 0 )	0.016 (0.009) (0.002) (0.004)	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	60	0.681	
作成期間の平均基準価額は、8,809円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

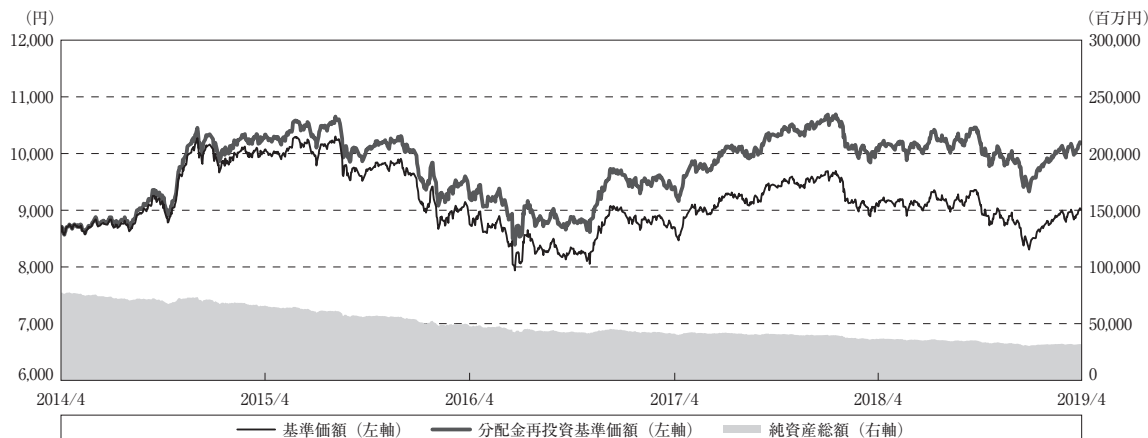
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2014年4月8日～2019年4月8日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年4月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年4月8日 決算日	2015年4月8日 決算日	2016年4月8日 決算日	2017年4月10日 決算日	2018年4月9日 決算日	2019年4月8日 決算日
基準価額 (円)	8,713	10,074	8,754	8,698	9,068	9,005
期間分配金合計(税込み) (円)	-	240	240	240	225	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	18.6	△ 10.9	2.2	6.8	1.3
純資産総額 (百万円)	77,742	65,926	47,722	41,155	36,405	31,887

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

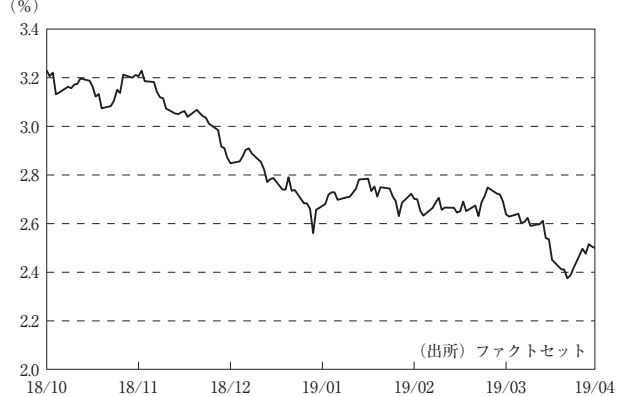
## 投資環境

(2018年10月10日～2019年4月8日)

当作成期の米国債券市場は、利回りが低下しました。期の前半は、原油価格の下落が続き、物価上昇への警戒感が和らいだことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの加速観測が後退したことなどから、利回りは低下しました。期の半ばは、世界景気の先行き不透明感が意識され、株式相場が急落したことから、安全資産としての債券が買われ、利回りは低下しました。しかしその後は、景気の先行きに対する過度の警戒感が後退し、株式相場が反発したことから、利回りは下げ止まりました。期の後半は、世界的な景気減速懸念が改めて意識されたことや、FRBが2019年内は利上げを見送る方針を示したことなどから、利回りは低下しました。

当作成期の欧州債券市場は、中長期債を中心に利回りが低下しました。期の前半は、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識され、欧州域内で相対的に安全資産とされるドイツ国債が選好されたことなどから、利回りは低下しました。FRBによる利上げペースの加速観測が後退したことも、ドイツ国債利回りの低下要因となりました。期の半ばは、世界景気の先行き不透明感を背景に株式相場が世界的に下落する中、利回りは低下しました。ユーロ圏景気の減速懸念が意識されたことも、利回りの低下要因となりました。期の後半は、欧州中央銀行（ECB）が2019年内の利上げ見送りを決定したことを受けて、利回りは低下しました。さらに、ユーロ圏やドイツの製造業関連の景気指標が予想を下回り、欧州景気の先行き不透明感が強まったことから、利回りの低下が進みました。

米国国債10年物利回りの推移

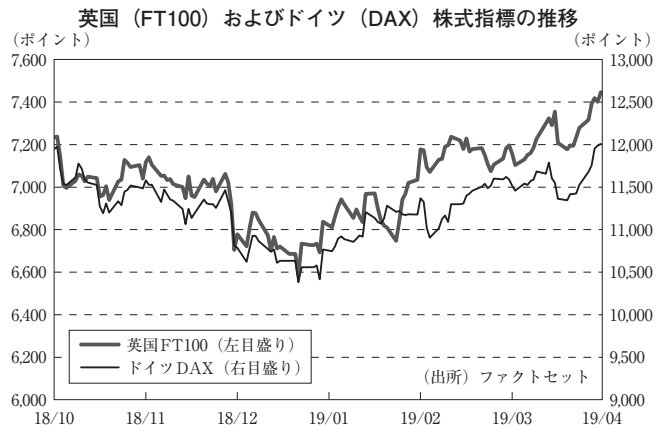


ドイツ国債10年物利回りの推移

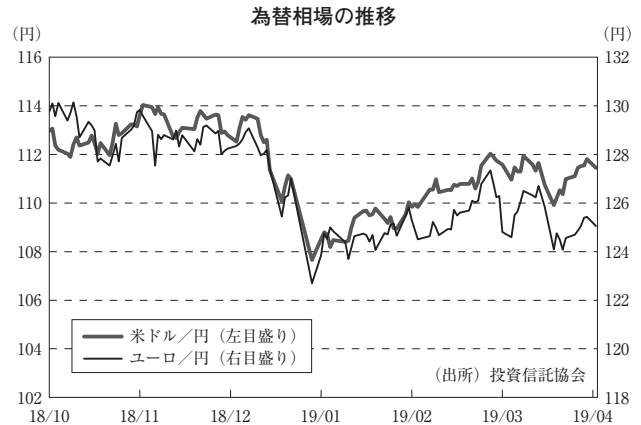


当作成期の米国株式相場は、底堅い展開となりました。期の前半は、FRBによる利上げペースの加速観測が後退し、買いが優勢となる場面も見られましたが、原油価格の下落が続く中、世界景気の先行き不透明感が意識されたことなどから、株価は上値の重い展開となりました。期の半ばは、世界景気の先行き不安が強まったことに加え、米政府機関の一部閉鎖を受けて米政権の政策運営を巡る不透明感が意識されたことなどから、株価は急落しました。しかしその後は、世界景気の先行きに対する過度の警戒感が後退したことや、米中貿易交渉の進展期待が膨らんだことなどから、株価は反発しました。期の後半は、米中貿易協定の進展期待等に支えられ、株価は底堅く推移しました。さらに、FRBが2019年内は利上げを見送る方針を示したことなどが好感され、株価は上昇しました。

当作成期の欧州株式相場は、底堅い展開となりました。期の前半は、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識されたことなどから、株価は下落しました。さらに、米中の貿易摩擦に対する懸念が根強い中、株価は下落基調となりました。期の半ばは、世界景気の先行き不透明感が強まる中、株価の下落が加速しました。しかしその後は、世界景気の先行きに対する過度の警戒感が後退したことや、米中貿易交渉の進展期待が膨らんだことなどから、株価は反発しました。期の後半は、米中の貿易協定が進展するとの期待が広がる中、株価は上昇しました。その後、欧州景気の先行き不透明感が広がり、株価は一時下落したものの、ECBが2019年内の利上げを見送る決定をしたことなどが好感され、上昇しました。



当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、米国経済が底堅く推移する中、米ドル買い・円売りが優勢となりましたが、その後は、FRBによる利上げペースの加速観測が後退したことなどから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。期の半ばは、世界景気の先行き不透明感を背景に株式相場が急落し、為替市場全般でリスク回避に伴う円買いが強まったことから、米ドルは対円で下落しました。しかしその後は、世界景気の先行きに対する過度の警戒感が後退し、リスク回避姿勢が和らいだことから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、米中の貿易交渉に対する進展期待等を背景に株式相場が上昇する中、米ドル買い・円売り優勢の展開が続きました。その後、FRBが2019年内は利上げを見送る方針を示したことなどから、米ドル売り・円買いが一時優勢となったものの、米ドルは底堅く推移しました。



当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識されたことや、米中の貿易摩擦に対する懸念が根強いことなどから、ユーロは対円で上値の重い展開となりました。期の半ばは、世界景気の先行き不透明感が強まり、株式相場が世界的に急落したことから、リスク回避に伴う円買いが強まる中、ユーロは対円で下落しました。しかしその後、株式相場が持ち直し、リスク回避姿勢が和らぐと、ユーロは下げ止まりました。期の後半は、米中の貿易協議が進展するとの期待が広がり、リスク回避姿勢が後退したことから、ユーロ買い・円売りが一時優勢となりました。しかしその後は、欧州景気の先行き不透明感が広がったことや、ECBが2019年内の利上げを見送る決定をしたことなどから、ユーロ売り・円買いが再び優勢となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月10日～2019年4月8日)

当ファンドは、主として「LM・グローバル債券マザーファンド」(以下、債券マザーファンド)および「LM・グローバル株式マザーファンド」(以下、株式マザーファンド)受益証券への投資を通じて、外国の公社債および株式に投資を行い、中長期的に信託財産の安定した成長を目指して運用に努めてまいりました。基本投資割合は、純資産総額に対して債券マザーファンド70%、株式マザーファンド30%を目安とします。マザーファンドへの投資割合が基本投資割合から一定の範囲を超えた場合には、組入比率の調整を行います。また、実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当作成期の運用においては、債券マザーファンドでは米ドル建およびユーロ建の国債を中心とした組み入れを継続しました。格付別では、AAA格の組入比率を引き続き高位に保ちました。株式マザーファンドでは、米国および欧州の主力優良銘柄を中心に、投資魅力度が高いと判断した銘柄を組み入れました。

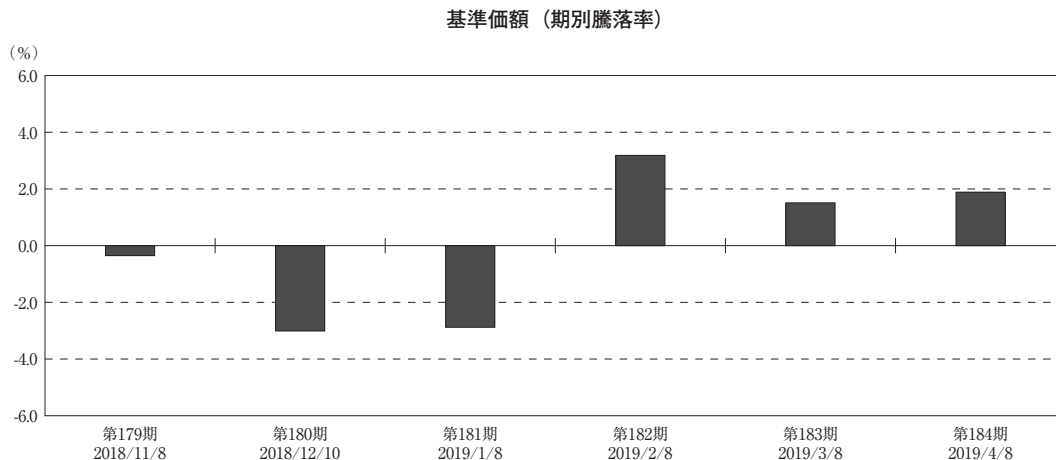


## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年10月10日～2019年4月8日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2018年10月10日～2019年4月8日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入および保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第179期	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期
	2018年10月10日～ 2018年11月8日	2018年11月9日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月8日	2019年1月9日～ 2019年2月8日	2019年2月9日～ 2019年3月8日	2019年3月9日～ 2019年4月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.166%	15 0.171%	15 0.177%	15 0.171%	15 0.169%	15 0.166%
当期の収益	3	8	6	12	14	15
当期の収益以外	12	6	8	2	0	-
翌期繰越分配対象額	558	551	543	540	540	542

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、マザーファンドを通じて外国債券および外国株式に投資を行い、中長期的に安定した信託財産の成長を目指すと同時に、引き続き毎月の分配金を享受していただくことができますよう、運用に注力していく所存です。

## お知らせ

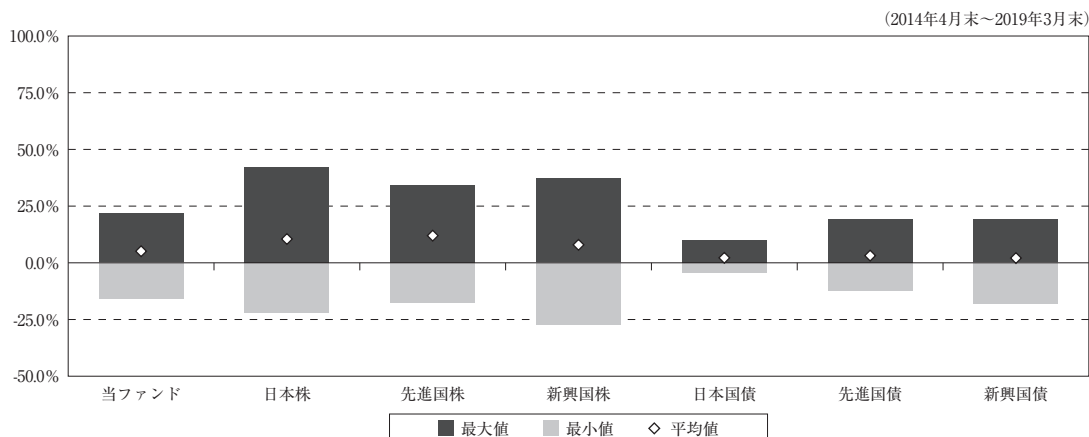
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	主として外国の公社債及び株式に投資を行うことにより、毎月の分配と中長期的な信託財産の安定成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	LM・グローバル債券マザーファンド、LM・グローバル株式マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。
	LM・グローバル債券マザーファンド	日本を除く適格国通貨建ての確定利付証券（モーゲージ証券および資産担保証券を含む）を主要投資対象とします。「適格国」とは、OECD加盟国および非加盟国のうちA-またはA3以上の政府債務格付を有する国をいいます。
	LM・グローバル株式マザーファンド	主として日本を除く世界各国の証券取引所上場株式・店頭登録株式を主要対象とします。
運用方法	当ファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%以内とします。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・グローバル債券マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権を行使した場合に限ることを原則とします。外貨建資産への投資割合には、特に制限を設けません。
	LM・グローバル株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.0	41.9	34.1	37.2	10.1	19.3	19.2
最小値	△ 15.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	5.1	10.5	12.0	7.9	2.2	3.2	2.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### \* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：FTSE 日本国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス：FTSE Fixed Income LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2019年4月8日現在)

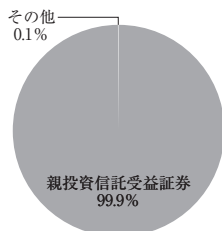
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第184期末
	%
LM・グローバル債券マザーファンド	66.1
LM・グローバル株式マザーファンド	33.7
組入銘柄数	2銘柄

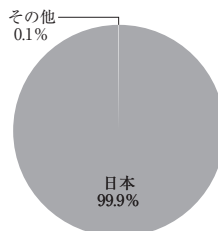
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

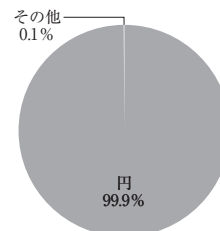
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第179期末	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末
	2018年11月8日	2018年12月10日	2019年1月8日	2019年2月8日	2019年3月8日	2019年4月8日
純資産総額	33,561,651,394円	32,097,722,944円	30,908,801,587円	31,552,055,014円	31,707,788,236円	31,887,356,607円
受益権総口数	37,147,193,059口	36,693,511,865口	36,442,644,063口	36,117,261,188口	35,817,095,479口	35,408,947,778口
1万円当たり基準価額	9.035円	8.748円	8.481円	8.736円	8.853円	9.005円

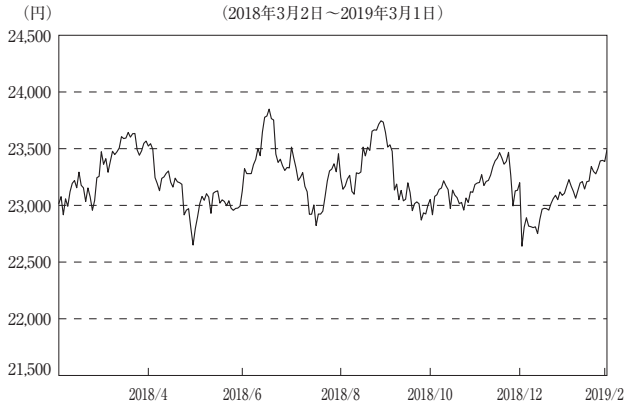
\* 当作成期間（第179期～第184期）中における追加設定元本額は72,783,653円、同解約元本額は2,150,009,268円です。

## 組入上位ファンドの概要

## L M・グローバル債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2018年3月2日～2019年3月1日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月2日～2019年3月1日)

項 目	期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	3 (3)	0.012 (0.012)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.012 (0.012)
合 計	6	0.024

期中の平均基準価額は、23,254円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2019年3月1日現在)

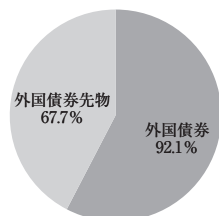
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ドイツ国債(10年)2019.3限月	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	29.3
2	US TREASURY NOTE 1.875% 2022/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	11.9
3	US TREASURY NOTE 1.75% 2022/3/31	国債証券	米ドル	アメリカ	11.6
4	米国国債(20年)2019.6限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	10.0
5	UK TREASURY 4.25% 2040/12/7	国債証券	イギリスポンド	イギリス	7.1
6	US TREASURY BOND 3.625% 2044/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	6.4
7	BUNDES REPUBLIC DE 2% 2022/1/4	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.8
8	米国国債(5年)2019.6限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	5.2
9	イギリス国債(10年)2019.6限月	債券先物(売建)	イギリスポンド	イギリス	5.2
10	ドイツ国債(10年)2019.6限月	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	4.8
	組入銘柄数		46銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

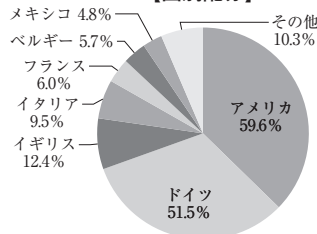
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

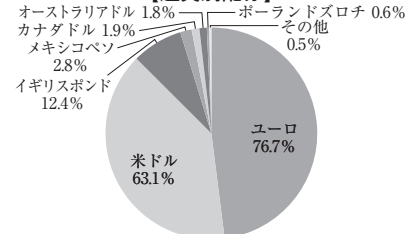
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

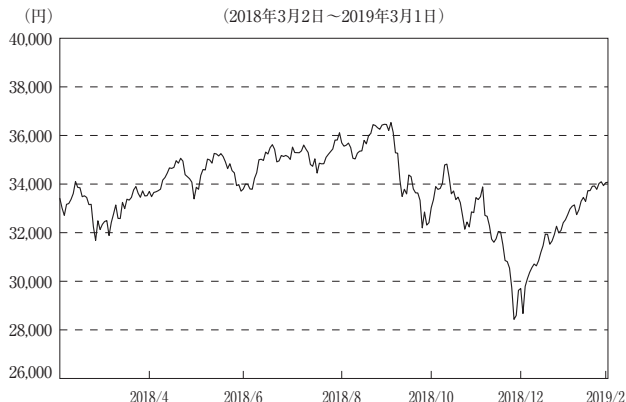
(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

L M・グローバル株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年3月2日～2019年3月1日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月2日～2019年3月1日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 投資信託証券)	29 (28) (1)	0.085 (0.084) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 投資信託証券)	6 (6) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	10 (10)	0.031 (0.030)
合計	45	0.133

期中の平均基準価額は、33,626円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

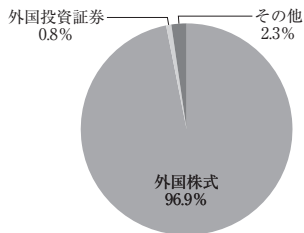
【組入上位10銘柄】

(2019年3月1日現在)

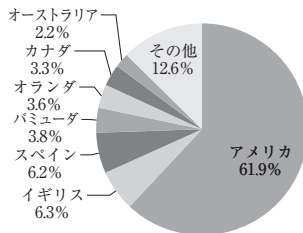
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.1
2 BOEING CO/THE	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.1
3 ALPHABET INC-CL A	コミュニケーション・サービス	米ドル	アメリカ	1.6
4 BANK OF AMERICA CORP	金融	米ドル	アメリカ	1.4
5 ICON PLC	ヘルスケア	米ドル	アイルランド	1.3
6 XILINX INC	情報技術	米ドル	アメリカ	1.3
7 HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	1.3
8 T-MOBILE US INC	コミュニケーション・サービス	米ドル	アメリカ	1.3
9 AMGEN INC	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	1.2
10 ANGLo AMERICAN PLC	素材	イギリスポンド	イギリス	1.2
組入銘柄数			116銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

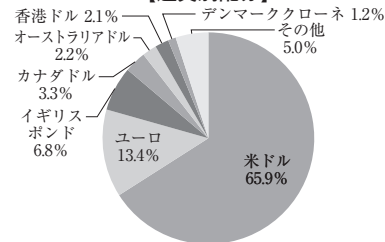
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
 (注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。